

2024年6月14日

株式会社東京証券取引所
代表取締役社長 殿

会社名 株式会社ヨンキュウ

代表者の

役職氏名 代表取締役社長 笠岡 恒三

(コード:9955、スタンダード市場)

問合せ先 取締役総務部長 宇都宮 紀

(TEL 0895-24-0001)

当社株式に係る保有状況報告書

2024年3月31日時点の当社株式の保有者から、別添のとおり保有状況報告書の提出がありましたので報告いたします。

当社は、提出した保有状況報告書について、東証が公衆縦覧に供することに同意いたします。

保有状況報告書

2024年5月31日

株式会社 ヨンキュー (9955)
代表取締役社長 等岡 恒三 様

保有者の名称 株式会社 愛媛銀行 印
代表者の役職・氏名 頭取 西川 義教
事務上の連絡先(役職・氏名) 企画広報部 佐々木 哲也
事務上の連絡先(電話番号) 089-933-5098

下記のとおり、2024年3月31日時点で、純投資目的で保有する貴社株式につき、ご報告いたします。なお、当社は、貴社が、有価証券上場規程等の規定に従い、本保有状況報告書を株式会社東京証券取引所(以下「東証」という。)に提出すること及び東証が本保有状況報告書を公衆縦覧に供することに同意いたします。

記

1. 保有株券の数

504,653株

2. 発行会社との関係等

項目	無	有(その概要をご記載ください)
株式の相互保有		発行会社が保有する当社普通株式 212,300株
人的関係(役職員の兼任、出身役員等)	無	
取引関係		一般的な金融取引(設備資金の融資、普通預金取引、当座預金取引)

<特記事項>(関係が有の場合、当該関係が純投資目的に影響を与えないと考える理由をご記載ください)

- 当行は、長期的な取引関係の維持を目的に同社の株式を政策保有株式として保有いたしました。発行会社と対話を行うなかで、政策保有株式として保有していた発行会社株式について、制約なく売却できるよう純投資目的に変更することで合意、2021年3月期の有価証券報告書において、発行会社株式について純投資目的に振替えた旨を開示しております。また、発行会社側が保有する当社株式についても同様に純投資目的の株式として保有目的を変更の上、自由に売買できるよう合意しております。
- 当行は、安定的な配当収入及び値上がり益を目的として純投資株式を保有しており、発行会社株式については、市場動向等を踏まえ、純投資株式を所管する部署の判断により、購入、売却を行っております。
- 発行会社との金融取引は、一般的な金融取引であり当行全体に占める割合も僅少です。

3. 最近5年間における純投資目的での売買実績(直近5件)

売買年月日	売買の数量	売又は買の別	市場内外取引の別(市場外の場合はその内容)
2021年5月19日	500株	売	市場内取引
2021年6月7日	500株	売	市場内取引
2021年10月5日	1,000株	買	市場内取引

4. 備考

以上

保有状況報告書

2024年5月31日

株式会社ヨンキュウ（証券コード 9955）

代表取締役社長 笠岡 恒三 様

保有者の名称 株式会社香川銀行

代表者の役職・氏名 代表取締役頭取 山田 径男

事務上の連絡先（役職・氏名） 市場金融部部長 唐渡 晃

事務上の連絡先（電話番号） 087-812-5134



下記のとおり、2024年3月31日時点で、純投資目的で保有する貴社株式につき、ご報告いたします。なお、当社は、貴社が、有価証券上場規程等の規定に従い、本保有状況報告書を株式会社東京証券取引所（以下「東証」という。）に提出すること及び東証が本保有状況報告書を公衆縦覧に供することに同意いたします。

記

1. 保有株券の数

500,616 株

2. 発行会社との関係等

項目	無	有（その概要をご記載ください）
株式の相互保有		発行会社が保有する当行の完全（100%）親会社（トモニホールディングス株式会社）の普通株式 433,000 株
人的関係（役職員の兼任、出身役員等）	無	
取引関係		一般的な金融取引（預金取引・融資取引）

<特記事項>（関係が有の場合、当該関係が純投資目的に影響を与えないと考える理由をご記載ください）

・当初、発行会社との取引関係の維持・強化を通じた地域経済への貢献を目的に同社の株式を政策保有株式として保有を開始しました。その後、当行のコーポレートガバナンスコードに基づき、保有意義の検討を定性基準（経営戦略上の連携等の有無、地域経済への貢献）及び定量基準（将来性、収益性）にて総合的に勘案して判断し、発行会社の合意の上、2021年3月に保有目的の変更を実施しております（保有目的の変更については弊行親会社の承認のもと、弊行で決定をしています）。これにつきましては、2021年3月期の有価証券報告書において、発行会社株式について純投資目的に振替えた旨を開示しております。なお、弊行におきましては、市場部門と営業推進部門・融資部門との間の情報統制により、取引内容に関してお互いの部門は確認できない態勢としております。

・弊行が純投資株式として保有する発行会社株式については、安定的な配当収入や値上がり益を得ることを目的として保有しており、配当利回り（簿価）や含み損益等の指標からも継続保有による運用の妥当性があるものと判断しております。今後の売買のタイミングや保有数量等については市場動向等を踏まえ市場部門が判断し、随時購入・売却を行っていく方針としております。

・発行会社との金融取引は、一般的な金融取引であり弊行全体に占める割合も僅少であります。

<裏面に続く>

3. 最近5年間における純投資目的での売買実績（直近5件）

売買年月日	売買の数量	売又は買の別	市場内外取引の別（市場外の場合はその内容）
2021年6月7日	300株	売	市場内
2021年6月10日	300株	売	市場内
2022年10月14日	500株	買	市場内
2022年10月31日	200株	買	市場内
2022年11月7日	300株	買	市場内

4. 備考

該当事項はありません。

以上